



※ 明日を変えるのは、今日の自分 ※

伴侶に先立たれ子供のいなかった叔母は、長く一人暮らしでした。容姿は、いつも着物身を着けていて竹久夢二の絵に出てくるような粋な方でした。甥たちの相談から当時、都内で独り者の自分が叔母の仏壇と御墓を守るように言われ、素直に誰も知っている人のいないこの街に住み始めました。早速開業しようとしたが、地元のどの金融機関にも相手にされず金融公庫でお借りできた僅かな資金で開業しました。大工さんの助手などしながら小さな店を建てました。苦しくも楽しい思い出です。

世の中の景気が良くて繁栄し、支店の開設や、異業種に参入してみました。カジュアルなレストランや、メンズスタッフの Snackbar、喫茶店、カフェなどをやってみました。家の設計や造園のアドバイスまでしていました。成り上がった人がやりそうなことをやってみました。Snackbar 以外、利益は出ず、すべてクローズしました。

今でも双方欠かしたことはありません。

目まぐるしく過ぎる季節の中で、市の行事や商店街の行事に参加させていただきました。学び直しもしました。学校に通ったり、年間100冊を目標に読書に明け暮れた毎日でした。法律、宗教、倫理学から趣味、料理、建築など手あたり次第読みました。そうする中でいつか商店街会長職を仰せつかり9年間楽しく大変な時間を費やしました。しかし人の嫌がる仕事も楽しくこなしていたので、様々な業界の方と接することも出来て学びの時間でした。どこにでもいつでも学びはあります。そうこうしているうちに、商工会の副会長職に引き上げていただき、本年とうとう会長を引き受けることとなりました。ここから6年、商工業の仲間と社会を明るく照らせたならと頑張る所存です。

人はなぜ生きるか、生きる意味の理解は、若くても長になっても、ハッとわかる時が来ます。自分は、生きているうちに少しでも人の役に立てたらいいなあと考えています。まず、第一に家族を幸せにしてから前に進めばいいと思います。家族という一番身近な組織は、経営の第一歩ですね。家族を犠牲にしてしまった経験から言

それら売却した資金でテナントを建てました。自分に才能があるから何でも成功すると、大きな勘違いをしていた時期でした。自分の雑学の浅さを知らず無知を悟った次第です。失ったものは離れていった友人たちと自分の家族でした。親類を雇用することの難しさを痛感しました。今思い出しても馬鹿な自分でした。

美容室も売却し、4店あった美容室を1店に集約しました。15坪の店をたくさん持っても、ブランド力やブランドイングのレベルが行き届かないのは自分の能力の無さからでした。多くのスタッフに迷惑をかけてしまいました。面積100坪1店に集約し、目が行き届く体制づくりに励みました。

多額の借入金を抱えて必死で働きました。残ってくれたスタッフに支えられながら返済を終えました。その時に一緒に頑張ってくれたパートナーには、日々感謝の気持ちでいっぱいです。

開業以来続けられたのは、地域の子供たちへの奉仕のカット、毎日毎朝、お店の周囲の道路清掃だけでしたが、えることです。たくさんの失敗を重ねました。だからなぜ勉強するのかと問われたら、失敗をしないための準備と、学校など講演に呼ばれた時は伝えています。

毎朝、叔母の遺影に手を合わせていると生前叔母の言っていた多くの言葉が、浮かんできます。『争うなら止めておけ。負けてもいい。険しい道と甘い道どちらを選んでも良い。ものごと、だいたい良いんだよ。』これは今自分の座右の銘になっています。

そうそう、叔母の啓示してくれた言葉で最高の一つを紹介しておきます。『女は平気で嘘をつく。』怖くて面白い言葉です。

(文 五番街代表 大倉太喜生)



hair design 五番街

TEL.0287-36-6811
那須塩原市太夫塚6-232-213